

平成22年7月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年5月31日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 プラネット
 コード番号 2391 URL <http://www.planet-van.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉生 弘昌

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画室長 (氏名) 滝山 重治

四半期報告書提出予定日 平成22年6月11日

TEL 03-5962-0811

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年7月期第3四半期の業績(平成21年8月1日～平成22年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年7月期第3四半期	1,874	1.5	364	5.1	379	20.3	214	32.2
21年7月期第3四半期	1,846	—	346	—	315	—	162	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年7月期第3四半期	32.31	—
21年7月期第3四半期	9,775.49	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年7月期第3四半期	2,634	1,979	75.2	298.54
21年7月期	2,453	1,919	78.2	115,769.94

(参考) 自己資本 22年7月期第3四半期 1,979百万円 21年7月期 1,919百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年7月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
22年7月期	—	11.00	—	—	—
22年7月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年7月期の業績予想(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,540	2.0	460	△3.7	470	4.3	260	9.5	39.21

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年7月期第3四半期	6,632,800株	21年7月期	16,582株
② 期末自己株式数	22年7月期第3四半期	1,600株	21年7月期	4株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年7月期第3四半期	6,631,200株	21年7月期第3四半期	16,578株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 平成21年7月31日現在の株主に対し平成21年8月1日付をもって、普通株式1株につき400株の割合で株式分割しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における日本経済は、景況感の持ち直しの動きが一部に見られたものの、雇用や所得環境は全般的に低調であり、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

日用品化粧品雑貨業界におきましては、消費低迷や天候不順による業界の取引の停滞と店頭での激しい販売競争が続いており、厳しい環境となりました。

このような状況下ではありますが、当社は、日用品化粧品雑貨業界及び隣接業界のメーカー・流通業の取引業務効率化のための情報化投資を支援するかたちで、従来に引き続き、①主たる事業のEDIサービスの利用率拡大、②メーカー・卸売業間におけるEDIサービス利用企業数の増加、③メーカー・流通業を結ぶマーケティングネットワークであるバイヤーズネットサービスの普及、④インターネットによる新技術を活用したEDIシステムや新しいマーケティング手法に関する啓蒙普及を行いました。さらに、改正薬事法で義務化されたOTC医薬品販売時の情報提供と相談応需をサポートする「医薬品説明文書データベースサービス」の安定稼働、小売業と仕入先間のEDIを実現するためのネットワークインフラ構築への取組み等を通じた成果を得ました。

この結果、当第3四半期の売上高は1,874百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は364百万円（前年同期比5.1%増）、経常利益は379百万円（前年同期比20.3%増）、第3四半期純利益は214百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 貸借対照表

当第3四半期末の資産の部は、前事業年度末に比べ180百万円増加し、2,634百万円となりました。

流動資産は86百万円増加し、1,455百万円となりました。これは、主に現金及び預金が59百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は93百万円増加し、1,178百万円となりました。これは主に事務所移転に伴う建物、工具、器具及び備品の取得やソフトウェアの増加があったこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ119百万円増加し、654百万円となりました。

流動負債は114百万円増加し、502百万円となりました。これは主に未払金が増加した一方で買掛金が減少したこと等によるものであります。また、固定負債は5百万円増加し、151百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金の増加によるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ60百万円増加し、1,979百万円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があった一方で、有価証券評価差額金の減少があったことによるものであります。

(2) キャッシュ・フロー

・当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ59百万円増加し、1,048百万円となりました。

・営業活動による資金の増加は、362百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益（373百万円）の計上及び減価償却費（152百万円）の計上があった一方で、法人税等の支払額（149百万円）があったこと等によるものであります。

・投資活動により使用した資金は、171百万円となりました。これは、ソフトウェアの取得による支出（108百万円）、敷金及び保証金の差入による支出（49百万円）、有形固定資産の取得による支出（33百万円）があった一方で、敷金及び保証金の回収による収入（39百万円）があったこと等によるものであります。

・財務活動により使用した資金は、131百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、現時点におきましては平成21年9月14日付「平成21年7月期決算短信（非連結）」に記載の業績予想と変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

- ・一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
- ・固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,078,613	1,018,780
売掛金	329,928	330,374
前払費用	5,197	3,672
繰延税金資産	23,431	13,530
その他	18,439	2,721
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	1,455,511	1,368,978
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,395	21,331
減価償却累計額	△1,565	△19,112
建物(純額)	25,829	2,218
工具、器具及び備品	20,957	16,155
減価償却累計額	△5,984	△14,742
工具、器具及び備品(純額)	14,973	1,412
有形固定資産合計	40,802	3,631
無形固定資産		
のれん	22,970	28,012
ソフトウェア	512,926	468,998
電話加入権	1,383	1,383
無形固定資産合計	537,279	498,394
投資その他の資産		
投資有価証券	287,289	247,753
関係会社株式	174,150	209,196
その他	139,152	126,147
貸倒引当金	△125	△132
投資その他の資産合計	600,467	582,965
固定資産合計	1,178,550	1,084,991
資産合計	2,634,061	2,453,969

	当第3四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,350	179,208
未払金	172,374	80,398
未払法人税等	76,008	66,907
賞与引当金	38,445	17,308
役員賞与引当金	12,000	16,000
その他	45,250	28,388
流動負債合計	502,429	388,211
固定負債		
退職給付引当金	77,499	77,947
役員退職慰労引当金	66,177	60,327
長期預り保証金	8,250	8,250
固定負債合計	151,926	146,524
負債合計	654,356	534,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,100	436,100
資本剰余金	127,240	127,240
利益剰余金	1,417,034	1,342,065
自己株式	△1,494	△1,494
株主資本合計	1,978,880	1,903,911
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	824	15,322
評価・換算差額等合計	824	15,322
純資産合計	1,979,705	1,919,234
負債純資産合計	2,634,061	2,453,969

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)
売上高	1,846,955	1,874,887
売上原価	843,678	813,626
売上総利益	1,003,276	1,061,261
販売費及び一般管理費	656,750	697,184
営業利益	346,526	364,077
営業外収益		
受取利息	1,555	386
受取配当金	—	741
有価証券利息	6,758	7,997
投資有価証券評価益	—	5,095
雑収入	478	1,244
営業外収益合計	8,791	15,464
営業外費用		
投資有価証券評価損	39,916	—
営業外費用合計	39,916	—
経常利益	315,401	379,542
特別利益		
固定資産売却益	—	10,000
貸倒引当金戻入額	8	0
特別利益合計	8	10,000
特別損失		
固定資産売却損	—	440
固定資産除却損	—	1,954
減損損失	35,517	—
事務所移転費用	—	13,700
その他	680	150
特別損失合計	36,197	16,244
税引前四半期純利益	279,211	373,298
法人税、住民税及び事業税	122,869	159,605
法人税等調整額	△5,716	△532
法人税等合計	117,153	159,073
四半期純利益	162,058	214,224

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	279,211	373,298
減価償却費	141,180	152,076
減損損失	35,517	—
のれん償却額	3,921	5,042
受取利息及び受取配当金	△1,555	△1,128
売上債権の増減額 (△は増加)	2,551	445
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,781	△20,857
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,608	21,137
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	△4,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7,223	△447
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,700	5,850
未払金の増減額 (△は減少)	△5,039	△1,834
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,438	△899
投資有価証券評価損益 (△は益)	39,916	△5,095
その他	1,640	△13,750
小計	498,209	509,836
利息及び配当金の受取額	3,771	2,665
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△240,851	△149,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,129	362,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△33,310
投資有価証券の取得による支出	—	△17,000
ソフトウェアの取得による支出	△141,101	△108,466
関係会社株式の取得による支出	△89,681	—
のれんの取得による支出	△33,614	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△49,903
敷金及び保証金の回収による収入	—	39,570
その他の支出	△2,090	△2,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,487	△171,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△127,168	△131,435
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,168	△131,435
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△132,526	59,833
現金及び現金同等物の期首残高	994,921	988,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	862,395	1,048,613

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

当第3四半期における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業別	前第3四半期累計期間 〔平成21年7月期〕 第3四半期		当第3四半期累計期間 〔平成22年7月期〕 第3四半期		(参考) 前期 (平成21年7月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
E D I 事業	1,575,619	85.3	1,588,781	84.7	2,116,771	85.0
データベース事業	252,759	13.7	268,395	14.3	349,236	14.0
その他事業	18,576	1.0	17,711	1.0	24,834	1.0
合計	1,846,955	100.0	1,874,887	100.0	2,490,842	100.0

以上